

31 ツブカワザンショウ

(カワザンショウガイ科)

兵庫県ランク:B

Assiminea estuarina

環境省ランク:NT

種の概要

本州中部から九州の河口や内湾奥部に分布する。潮間帯の中から高潮帯の礫や漂着物の裏、ヨシ帯の床の枯葉下などに生息する。殻長4mm程度になり、体層が大きく丸みがあり、小型ながら厚く堅固である。臍孔は極めて狭いが開孔する。光沢はなく、淡黄褐色の地に褐色の細い帯が縫合下と周縁、殻底付近にある。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

加古川市、高砂市、たつの市、赤穂市、南あわじ市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。主に播磨灘流入の河口にある干潟のヨシ帯から礫場に生息する。既知産地が淡路島南部と播磨地域に限られているが、クリイロカワザンショウ(貝類Cランク)の生息地では概ね生息するものと思われる。

保護上の留意点

緩傾斜の河口干潟があり、ヨシ帯、礫混じりの砂泥干潟、塩性湿地などいろいろな干潟要素の存在が他種を含めて必要である。



写真提供：川淵千尋



写真提供：増田修

【執筆者】 増田修